

第4次図書館情報システム設計開発業務委託 提案評価表

項番	評価項目	参考資料	提案書記述内容	評価基準	重み	配点	割合
<b>1 業務及びシステムに対する理解度</b>					50	8.00%	
1	1 本業務の実施方針	<b>■ 2 目的</b> <b>■ 6 現行システムの課題と次期システムの構築方針</b>	本市が提供する図書館サービスを踏まえ、貴社の提案内容全体に関しての実施方針を簡潔に記述してください。	本業務の目的、業務範囲等を十分に理解し、業務を確実に遂行するための方針が示されていること。提案にあたっての基本的な考え方、実施方針の特徴等が簡潔にまとめて記述されているか。	5	25	4.00%
1	2 提案内容のアピールポイント		本市が提供する図書館サービスを踏まえ、貴社の提案内容全体に関してのアピールポイントを簡潔に記述してください。	アピールポイントは本市の規模、方針、目的、解決すべき課題を考慮した妥当な内容となっているか。	5	25	4.00%
<b>2 機能要件の理解度</b>					85	13.60%	
2	1 機能要件全体に対する提案	<b>■ 7 機能要件</b>	本システムの機能要件を実現するために、貴社はどのような方法を採用するかについて具体的に記述してください。 システムの機能の実現にあたり、留意すべき点や工夫できる点等について、貴社の考えを記述してください。 なお、個々の機能・帳票についての詳細は「対応方法」「カスタマイズ内容」「代替手段案」「その他意見」として回答様式2「機能要件回答票」、回答様式3「帳票要件回答票」に記載してください。記載要領は、各種様式内の「回答要領」を参照してください。	システムの機能要件を実現するための具体的な提案がなされているか。留意点や工夫できる点は具体的かつ妥当であるか。	10	50	8.00%
2	2 操作性・ユーザインターフェースに関する提案		操作性の観点で、本システムの開発にあたって考慮すべき事項と具体的な対応策を記述してください。 また、ユーザインターフェース（画面および帳票）の設計を行う際に留意すべき点や工夫できる点等について、貴社の考えを記述してください。	操作の分かりやすさ、ミス操作を防ぐための工夫及び使いやすさなど図書館業務を前提とした操作性が確保できる提案となっているか。 画面及び帳票の設計を行う際に、使いやすさ、留意点や工夫できる点は具体的かつ妥当であるか。	7	35	5.60%
<b>3 非機能要件の理解度</b>					105	16.80%	
3	1 非機能要件全体に対する提案	<b>■ 8 非機能要件</b>	本システムの非機能要件を実現するために、貴社はどのような方法を採用するかについて具体的に記述してください。 実現にあたり、留意すべき点や工夫できる点等について、貴社の考えを記述してください。	システムの非機能要件を実現するための具体的な提案がなされているか。留意点や工夫できる点は具体的かつ妥当であるか。	7	35	5.60%
3	2 セキュリティに関する提案		本システムが求める情報セキュリティの要件を実現するために、貴社はどのような方法を採用するかについて具体的に記述してください。 実現にあたり、留意すべき点や工夫できる点等について、貴社の考えを記述してください。	システムの情報セキュリティ要件を実現するための具体的な提案がなされているか。留意点や工夫できる点は具体的かつ妥当であるか。	7	35	5.60%
3	3 システムの安定性に関する提案		長期的に運用可能なシステムの構築にあたり、貴社が留意すべき点や工夫できる点について具体的に記述してください。	本市の規模を考慮に入れたうえで、メンテナンスの容易さ、ソフトウェアライフサイクルの観点や機能拡張性への対応方法といった具体的な提案がなされているか。 留意点や工夫できる点は具体的かつ妥当であるか。 回答様式2「機能要件回答票」及び回答様式3「帳票要件回答票」で「カスタマイズ対応」と回答した機能数がシステムの規模に対して妥当な割合か。	7	35	5.60%

4 システムの実現手法						190	30.40%	
4	1	開発方法	■9 システム構築要件 (1), (2), (6)	設計および開発プロセスの実施方針を記述してください。	設計・開発における実施内容や留意点が明確になっているか。実施内容や留意点は具体的かつ妥当であるか。	1	5	0.80%
4	2	ハードウェア構成・ネットワーク構成	■9 システム構築要件 (3),(4)	本市の規模や業務内容を踏まえ、実現するために最適だと考えるハードウェア構成とネットワーク構成について、具体的に記述してください。 本システムの構築に必要と想定される機器類のリース費用またはクラウド環境の利用料を回答様式1「必要経費見積書」に示してください。対象期間といった見積条件は回答様式1に示すとおりとします。また、記述可能な範囲で積算の根拠となる内訳も記載してください。見積範囲には本市提示の要件以外で貴社が追加提案した内容も含めてください。	本システムの要求を満たすために必要な構成として提案がなされているか。構成は現実的かつ妥当か。 また、これらの費用が現実的かつ妥当であるか。	5	25	4.00%
4	3	ソフトウェア構成	■9 システム構築要件 (5)	本市の規模や業務内容を踏まえ、実現するために最適だと考えるソフトウェア構成について、具体的に記述してください。 本システムの構築に必要と想定される調達費用を回答様式1「必要経費見積書」に示してください。対象期間といった見積条件は回答様式1に示すとおりとします。また、記述可能な範囲で積算の根拠となる内訳も記載してください。見積範囲には本市提示の要件以外で貴社が追加提案した内容も含めてください。	本システムの要求を満たすために必要な構成として提案がなされているか。構成は現実的かつ妥当か。また、提案が具体的で、本市の負担が配慮された内容であるか。 また、これらの費用が現実的かつ妥当であるか。	5	25	4.00%
4	4	システム（データ）移行	■9 システム構築要件 (7)	現行システムから本システムへの移行について、どのように実施するかについて具体的に提案してください。	稼働スケジュールを踏まえた確実な移行の提案がされているか。	5	25	4.00%
4	5	テスト方法	■9 システム構築要件 (8)	開発に必要な各種のテストについて、目的、内容、スケジュール、確認方法について記述してください。また、それに伴う本市と受託者の役割分担や作業割合について記述してください。	テストの目的、内容、頻度等が明確になっているか。効率性、正確性を考慮したテストとなっているか。また、本市と受託者の役割分担について妥当か。 <加点の例>仕様書にないテスト指標の記載、カスタマイズ部分に焦点を当てたテスト方針の記載等	5	25	4.00%
4	6	研修	■9 システム構築要件 (9)	本市の職員構成とその業務分担を踏まえ、基本的な考え方とスケジュール、具体的な実施方法について記述してください。また、それに伴う本市と受託者の役割分担について記述してください。	現実的なスケジュールが計画された上で、本市と受託者の役割分担について妥当か。また、職員に十分な習熟を期待できる提案となっているか。 <加点の例>業務別の研修計画案の提示、各館へのデモ機の事前設置計画案の提示等	7	35	5.60%
4	7	運用・保守の実施方法	■10 運用保守要件	運用・保守作業について、仕様書に記載した「運用・保守要件」を実現するために貴社が想定している対応を示してください。また、記載されている「運用・保守要件」以外に、貴社が必要だと考える支援や業務を効率化するための支援等があれば提案してください。 本システムの稼働に必要と想定される運用・保守に要する費用を回答様式1「必要経費見積書」に示してください。見積期間は5年間とし、記述可能な範囲で積算の根拠となる内訳も記載してください。見積範囲には本市提示の要件以外で貴社が追加提案した内容も含めてください。	円滑な運用を見据えた提案となっているか。本市からの問合せや相談に対する体制や手順等が具体的に示されているか。その内容は現実的かつ妥当であるか。また、市側の負担を最小限にするなどの運用の効率化に対する提案があるか。 また、これらの費用が現実的かつ妥当であるか。	10	50	8.00%

5 プロジェクト管理能力						120	19.20%	
5	1	工程（時期）	—	本市想定スケジュールを踏まえ、プロジェクトの工程表を記載してください。工程表には、貴社の他、本市および関連する各事業者が実施するタスクについても記載してください。	本市想定スケジュールを踏まえた内容となっているか。本市及び関連する各事業者が確認、調整、検討等を行うことを考慮し、無理のない工程となっているか。また、確認・検討等を行うタイミングは適切であるか。 本市想定スケジュールからの乖離点がある場合、メリット・デメリットいずれも詳細な説明が記載され、それらに実現性と妥当性があるか。	3	15	2.40%
5	2	進捗管理	—	進捗管理を円滑に進めるための方法を記述してください。	本市から見て進捗状況が把握しやすいような進捗管理がなされるか。 <加点の例>進捗管理ツールの提示等	3	15	2.40%
5	3	リスク・課題管理	—	プロジェクトに潜む情報セキュリティ等のリスク・課題を把握し、管理するための方法を記述してください。	プロジェクトに潜むリスク及び課題を把握し、管理・改善するための工夫がなされているか。プロジェクトにおける情報セキュリティ管理は確実に実行されるか。 <加点の例>現時点で判明しているスコープ変更ルールへの提示、プロジェクト管理ツールの提示等	5	25	4.00%
5	4	品質管理	—	成果物の品質管理基準について記述してください。品質を高めるための工夫があれば、合わせて記述してください。	成果物の品質を高めるための工夫がなされているか。各種設計書・ソースコード・テスト計画書等といった成果物の特性に合わせた工夫がなされているか。それらの方法は現実的かつ妥当であるか。 <加点の例>コーディング規約の有無の提示、ドキュメント管理ツールの提示等	5	25	4.00%
5	5	変更管理	—	プロジェクトの要件に変更が発生した場合、どのような対応を行うことが出来るかを、変更内容を想定した上で具体的に記述してください。	プロジェクトの要件に変更が発生した場合の対応方法が示されているか。その方法は現実的かつ妥当であるか。 <加点の例>管理ツールの提示等	5	25	4.00%
5	6	コミュニケーション管理	—	開発業者内部、本市及び関連する各事業者と調整するためのコミュニケーション計画について記述してください。	コミュニケーションを円滑に実施するための方策が示されているか。その方法は現実的かつ効果的であるか。 <加点の例>コミュニケーション頻度、利用ツールの提示等	3	15	2.40%

6 組織的対応力						50	8.00%	
6	1	開発実績	—	稼働開始日を基準とした過去10年間での同種または類似の業務実績を記載してください。合併、分割、事業譲渡等により、当該実績における事業者の名称が提案者と異なる場合は、その経緯を明記した上で、提案者の実質的な実績について記載してください。	同種または類似の業務実績があるか。同種業務の実績を高く評価する。 本市が想定する同種業務とは以下のとおり。 ■政令指定都市の公共図書館における業務システム導入（新規・継続を問わない） 本市が想定する類似業務とは以下のとおり。 ■公共図書館における業務システム導入（新規・継続を問わない）	7	35	5.60%
6	2	体制	—	本プロジェクトの遂行にあたり想定する人員体制について、プロジェクトマネージャー及びプロジェクトリーダーの各々の役割、実務実績について具体的に記述してください。	プロジェクト構成員個々の役割と全体調整がなされている組織構成になっているか。 システムを高品質で完成させる技術力が期待できる体制になっているか。本プロジェクトに技術的な課題が発生した際の支援体制は確保されているか。 <加点の例>インフラ構築サポート、ソフトウェア保守チームといった具体的な記載等	3	15	2.40%
7 その他						25	4.00%	
7	1	追加提案項目	■ 6 現行システムの課題と次期システムの構築方針	本件と類似の開発経験（貴社パッケージ既存機能も含む）等を踏まえ、本市提示内容になく、追加したい提案項目がありましたら、その内容及び特徴を記述してください。上限は5件までとし、提案1件あたりの扱いは「重み：1」「配点：5」とします。なお、追加提案は入札金額内での対応を前提とします。また、個々の提案についてパッケージ既存機能であるか否かを明記してください。	本件と類似の開発経験等を踏まえ、実現性の高い有効な追加提案があれば加点する。 本市が期待する提案は以下のとおり。 ■利用者の利便性向上につながる提案 ■内部業務の効率化につながる提案 ■図書館サービス・業務全般で活用できる分析ツールの提案	1	5	0.80%
					1	5	0.80%	
					1	5	0.80%	
					1	5	0.80%	
					1	5	0.80%	
7	2	特記事項	—	業務実施にあたり、その他特記事項がありましたら、記述してください。	(評価対象外)	0	0	0.00%
<b>合計</b>						<b>125</b>	<b>625</b>	<b>100%</b>